

現代ビジネス学科の三方針

各ポリシーにおいて育成すべきあるいは基盤として必要な人物像を「Ⅰ．人間力」、「Ⅱ．専門力」、「Ⅲ．地域貢献力」の三つの柱と、学力の3要素「①知識・技能」、「②思考力・判断力・表現力」、「③主体性・多様性・協働性」の視点から整理・構成した。なお、各ポリシーの文末の番号（①～③）は、表内の「学力の3要素」を示している。

（1）現代ビジネス学科のディプロマ・ポリシー（DP）

現代ビジネス学科では、以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士（経営実務）」の学位を授与する。

DPⅠ：人間力

1. 人として正しい生活を営むための基本的な教養と社会科学の知識を獲得している。
（①）
2. 職場において自らの役割を適切に判断し、優れたチームワークを発揮して成果へと繋げる能力を獲得している。（②③）

DPⅡ：専門力

1. 企業や病院等の実務に必要な基礎知識と技術を習得している。（①）
2. 職場および社会の環境変化に主体的に対応できる柔軟性を持ち、幅広い分野で活躍出来る能力を獲得している。（②③）

DPⅢ：地域貢献力

1. 経済社会および企業社会の経営知識を習得している。（①）
2. 職場や地域社会において課題を発見し、解決へと導く能力を獲得している。（②）
3. 正しい勤労観と社会への意欲的な参画意識を獲得している。（③）

（「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科DPの関係）

学科ディプロマ・ポリシー	DPⅠ-1	DPⅠ-2	DPⅡ-1	DPⅡ-2	DPⅢ-1	DPⅢ-2	DPⅢ-3
学科で獲得する力 学力の3要素	人間力		専門力		地域貢献力		
①知識・技能	◎		◎		◎		
②思考力・判断力・表現力		◎		◎		◎	
③主体性・多様性・協働性		◎		◎			◎

(2) 現代ビジネス学科のカリキュラム・ポリシー (CP)

(1) 学科の教育課程編成方針

以下の方針で現代ビジネス学科の教育課程を編成する。

CP I : (教養科目の編成方針)

豊かで柔軟な人間性を育むという方針のもと、日本国憲法のほか言語表現力や情報リテラシーおよび体力を養う科目で編成する。

CP II : (専門科目の編成方針)

以下に述べる「専門基礎」、「コース科目」、「ゼミナール」、「資格対策」で編成する。

- ① 経済社会と企業活動の仕組みを理解する「専門基礎科目」。
- ② ビジネス実務の専門的知識と技術を身につける「コース科目」。
- ③ 大学での学びの基礎能力を身につけ、自己の課題を探究する「ゼミナール」。
- ④ 資格取得を通じて専門性を高め、就業力の向上を目指す「資格対策」。

CP III : 基礎的・一般的学習から発展的・研究的学習へ、という順序性をもった科目配置とする。

(「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科カリキュラムの関係)

カリキュラム	教養科目	専門科目	
学科で獲得する力 学力の3要素	人間力	専門力	地域貢献力
①知識・技能	◎	◎	◎
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	◎	◎

(2) 学科の教育課程実施方針

以下の方針で教育を実施する。

CP IV : 「教養科目」では、人間としての常識を、「専門基礎科目」では、ビジネス全般に共通する知識・技能を学生が重点的に身につけ、社会人に求められる基本的な能力を獲得できるような形態や内容で実施する。

CP V : 「コース科目」は、学生の専門性を高められるような形態や内容で実施する。同時間開講でなければ、学生がひとつのコースのみならず複数のコースについて履修可能とする。このことで入学直後にコースを決めかねている場合でも、学生自身が自らの適性を判断可能となる。また、適性範囲の広い学生は、複数コースの「コース科目」を履修可能となる。

CP VI : 「ゼミナール」や各種演習科目は、学生が知識・技能を受動的に修得するだけでなく、自ら課題を発見し、解決に向けての実践力を身につけられるような形態や内容で実施する。

CP VII : 「資格対策」は学生が、各種検定試験等の合格や高得点を目指せるような効果的な内容で実施する。各種検定試験等の合否や得点は、学修達成度の客観的評価となるだけでなく、社会人としての自信や反省材料となる。

CPⅧ：学生の「ポートフォリオ」への記入は、上記一連の科目の履修を通じて、学びの進度を自己点検できるように、1年次から卒業時まで半期ごとに実施する。

(3) 現代ビジネス学科のアドミッション・ポリシー (AP)

現代ビジネス学科への入学者に以下の力や資質を求める。

AP I：人間力

1. 高等学校で履修した国語、外国語などの科目について内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。(①)
2. 物事を多面的に捉え、課題を発見し、自ら多様な人々と協働して解決する意欲を有している。(②③)

AP II：専門力

1. ビジネスの現場で必要とされる基礎学力を有している。(①)
2. 自らの経験とビジネスを結びつけ、課題を発見することができる基礎的能力と意欲を持っている。(②)
3. 積極的に資格取得を目指すなど自ら学び続ける意欲と、他者と協調して問題解決に取り組む意欲を持っている。(③)

AP III：地域貢献力

1. 現代社会の諸問題を把握し、自らの立場から改善策を考える意欲を持っている。(①②)
2. 地域社会に深い関心を持ち、貢献する意欲を持っている。(③)

(「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科APの関係)

学科アドミッション・ポリシー	AP I	AP II	AP III
学科で獲得する力	人間力	専門力	地域貢献力
学力の3要素			
①知識・技能	◎	◎	◎
②思考力・判断力・表現力	◎	◎	◎
③主体性・多様性・協働性	◎	◎	◎

注：学科のアドミッション・ポリシーと入学選抜試験との関係は別途提示する。